

競技上の注意事項

- 競技規則 平成30年度(公財)日本バドミントン協会競技規則及び同大会運営規程ならびに同公認審判員規程による。
- 競技方法 全種目トーナメント戦とする。
A、Bクラスはベスト8(試合番号173)までは15点3ゲーム(上限21点)とし、ベスト8以降は21点3ゲームとする。(上限30点)
但し、試合の進行状況によりポイントを変更する場合がある。
ゲーム間に2分、各ゲームでどちらかが先に11点を取った時点で1分を超えないインターバルを認める。
Cクラスは15点3ゲームとする。(上限21点)
ゲーム間に2分、各ゲームでどちらかが先に8点を取った時点で1分を超えないインターバルを認める。
ベンチ入りする監督・コーチは、日本バドミントン協会登録証を携帯している2名とする。
審判に対し、質問は認めるが抗議はしてはならない。
試合が連続になる場合は前試合終了10分後に試合を行う。
- 使用シャトル 平成30年度(公財)日本バドミントン協会検定合格球を使用する。
- 出場資格 平成30年度日本バドミントン協会登録選手。
- 開始時間 9時10分からの開会式終了後(9時30分予定)
- 審判 主審は主催者側で担当する。
試合終了後は両選手が次試合の線審を行う。
点数係は対戦チームから1名ずつ担当する。
- 監督会議 9時00分より行う。

一般上の注意事項

1. 各自の持ち物は、各自で責任をもって保管して下さい。試合中は、チームメートや保護者が管理して紛失盗難等がないように、お互い協力する。
2. 競技中の負傷については応急処置のみで、その後の責任は主催者側で負いません。
3. 昼食時間はもうけません。ゲームの進行に支障のないよう適宜各自で行って下さい。
4. 「ごみ」は各自で持ち帰って下さい。
5. 観客席、フロア内は土足厳禁です。
6. エレベーターの使用は禁止です。